

研修会」は、優れた講師陣の指導により充実した技能を修得させた研修であった。各地域・職場・学校でのよきレクワーカーとしての資質を高めていった。

(3) 現職教育の推進

- 指導職員の英智を結集することにより、研修種目の開発や研修の内容方法の改善工夫を、具体的に策定するプロジェクトをねらいとした。
- 各種研修会への積極的な参加、視察により学んだ点の導入、伝達講習や共同研究により、教育施設専門職としての資質向上につとめた。
- 多様化するニーズや各種団体の要望に対処できるような教材整理・研究を行うとともに、望ましい自主・主体的な研修団体のあり方について協議・共通理解を図った。

(4) 安全管理の推進

- 入所研修団体に安全指導の万全を期してもらうよう、研修種目・領域ごとに、安全指導の観点・チェックポイントを具体的にあげ、「安全指導の手引」を編集し発行した。個票としても利用できる用意をした。
- 日常の安全点検を確実に徹底して実施、海水浴・野外活動においても、施設設備面の事故防止に努めたので、今年度も無事故を達成した。
- 給食委員会を中心に、食堂や厨房の衛生管理や献立の改善につとめ、また、入所時の持参弁当にも配慮を願うよう団体に要請するなどの万全の策をとったので、食中毒は皆無であった。
- 緊急時所用内電話設置や、防火安全定期点検の確実な実施、防災訓練の計画的な実施など、防災体制の強化に努めた。

(5) 施設設備の充実

- 宿泊棟屋根が10年間の老朽で雨漏り箇所ができたので、全面的改修工事を施工した。
- 風呂場の内装塗装、タイル張り替え工事施工、憩いの場の雰囲気を一変した。
- 宿泊部屋の天井等の内装一部改装、明るい快適な宿舎に面目を新たにしました。
- 休憩室ロビーを中心に「海浜展」ディスプレイに工夫をこらした。近海の魚類写真、模擬砂浜、漁船用大網に大漁旗、大平洋の景色の壁画、カメなどの標本など、マリーの雰囲気をだすようにした。
- 研修活動・研修案内コーナーに大型写真パネルを展示し、視覚的に当所の研修内容を紹介した。
- 本年度も、「花いっぱいコンクール」で6年間連続して特別賞を受賞した。
- 日本生命財団より、サイクリング車43台、ローラースケート50台、三脚つき双眼鏡10台、自然観察用図書などを寄贈され、研修内容が豊かになり研修生に喜ばれている。

第2節 施設・設備の概要

1 所在地

福島県相馬市磯部字大洲38番地3

2 敷地面積

200,000㎡

3 建物面積

3,916㎡

4 宿泊定員

本館 定員200名(8人用部屋22、12人用部屋2)
キャンプ場 定員100名(5人用テント 20張)

5 施設・設備

本館 2,741㎡
体育館 736㎡
総合研修館 410㎡
キャンプ場 2,800㎡
運動広場 15,850㎡
その他

- ①自然遊歩道 ②オリエンテーリングコース ③フィールドワークコース ④ウォークラリーコース ⑤グリーンアドベンチャーコース ⑥ハイキングコース ⑦サイクリングコース ⑧海水浴場 ⑨キャンプファイヤー場

6 備品

- (1) ピアノ、オルガン、16ミリ映写機、スライド映写機、TV<4>、VTR、OHP、三脚付双眼鏡<10>、天体望遠鏡、星座早見表、ステレオ、テープレコーダ<3>、ワイヤレスアンプ、トランジスタメガホン、アコーディオン、ギター、レコード、放送設備
(2) サイクリング車<60>、自転車<10>、一輪車<12>、ローラースケート<50>、竹馬<30>、トランポリン<1>、卓球台<4>、チェックボール、インデアカ<2>、ペンタック、バドミントン、バレーボール、その他

第3節 利用状況

1 月別利用状況

月	項目	団体数	実利用者数	延宿泊者数	延利用者数
4		31	2,344	3,726	6,070
5		21(5)	1,998(262)	3,430(262)	5,428
6		34(10)	2,419(539)	4,119(539)	6,538
7		44(21)	2,637(1,266)	5,215(1,369)	7,852
8		51(22)	2,980(1,229)	5,236(1,362)	8,216
9		21(4)	1,853(263)	2,910(263)	4,763
10		12	841	1,273	2,114
11		6	277	394	671
12		7	418	450	868